

Rapport (ラポール) とは、仏語で「信頼と親愛の絆」を表しています。
多摩大学広報紙「Rapport」は、多摩大学と多摩大学サポーターをつなぐ
コミュニケーション紙です。

発行者／多摩大学 発行日／2016年6月30日
東京都多摩市聖ヶ丘4-1-1 TEL：042-337-1111 FAX：042-337-7103
<http://www.tama.ac.jp/>

Rapport

2016
Number
094

多摩大学 | 広報誌 |

Vol.94 Contents

経営情報学部 2015年度 褒賞者	02-03
教員紹介	04
2016年度 入学式／SGS後援会定期総会	05
キャリアサポート・2015年度 就職状況	06
平成27年度 学校法人田村学園概要	07
多摩大学 フットサル部 2016年度 新入部員の紹介	
多摩大の志「卒業生インタビュー」	08

経営情報学部 2015 年度 褒賞者

多摩大学経営情報学部では、学業や社会活動において優れた業績を上げた学生を褒賞する制度を設けています。

【多摩大学経営情報学部 褒賞制度内容】

褒賞名	褒賞内容
最優秀学生賞 (Best Academic Achievement Award) ※1	大学在学中 4 年間を通じて総合的に最も優秀な成績を収めた卒業予定者 5 名及び本学学生として模範的行為のあった者若干名
成績優秀学生賞 (Academic Achievement Award of the semester) ※2	成績優秀者奨学金受給学生に該当する者
優秀学生賞 (Academic Achievement Award) ※2	各講義科目において顕著に優れた成績を収めた学生 (各科目 1 名)
	教育補助 (SA) として著しい功績があった者
	成績向上が顕著な者 (GPA の向上等を基準)
	学業に対する取組みが真摯で他の模範となる者
学長賞及び学部長賞 (President's Award, Dean's Award) ※1	本学学生として模範的行為のあった者または団体
社会・研究活動賞 (Outstanding Achievement Award in Research and Social Activities) ※2	コンテスト等において優秀な成果をおさめた者または団体
	課外活動で全国大会に出場する等顕著な成績をおさめた者または団体
	在籍期間を通じて学生会等の活動にて特に貢献のあった者
	優れた研究成果又は論文を発表した者または団体

※1 年度末に実施 ※2 春・秋学期末に実施

【2015 年度 最優秀学生賞】

川口 達也	山崎 眞理	三代 ひろな	藤間 翔	小林 隼人	瀧口 遥
-------	-------	--------	------	-------	------

【2015 年度 秋学期 成績優秀学生賞 [成績優秀者奨学生]】

学業及び成績が優秀で人物及び健康ともに優れ、他の規範となる学生に対して、多摩大学奨学金規程に基づき審査を経て区分に応じた奨学金を支給しています。

■ 1 年次

・区分 1

学生氏名
茂木 佑馬

・区分 2

学生氏名
阿部 慎吾
荒井 綺花
伊槻 裕紀
大久保 諄也
奥原 れいな
笠原 敏幸
加藤 太基
川田 浩大
坂本 尚平
坂本 隆博
副島 幸奈
田中 雄大
坪崎 遥香
戸谷 優介
早坂 一哉
古橋 明日香
増田 悠斗
村上 なな

■ 2 年次

・区分 1

学生氏名
佐藤 樹

・区分 2

学生氏名
青木 湊
赤坂 英紀
井浦 竜
市村 侑己
岩野 元輝
上杉 壽慶
榎本 結香
小倉 秀高
数野 徹
島本 海央
杉浦 那由多
高瀬 和希
二宮 悠輝
濱島 健吾
濱田 龍
藤田 侑也
水谷 勇希
宮下 真菜

■ 3 年次

・区分 1

学生氏名
塩入 勇

・区分 2

学生氏名
新保 貴之
井上 海岬
井上 路華
氏家 侑也
江川 知秀
大倉 悠
大貫 瑠奈
岡部 昌
楠本 和哉
木暮 奎太
角田 高毅
内藤 勇之助
松永 龍太
三上 洋人
宮崎 遥子
渡邊 十夢
渡辺 捺美
渡辺 結南



1 年次成績優秀学生賞



2 年次成績優秀学生賞



3 年次成績優秀学生賞

※学籍番号順

※学年は 2015 年度 (秋学期) のものとなります。

【2015 年度 秋学期 優秀学生賞】

■ 各講義科目において顕著に優れた成績を収めた学生

科目名	氏名
English Expression II	奥原 れいな
IT デザイン II	原地 将甲
Practical English Conversation II	島本 海央
TOEIC II	塩入 勇
Web デザイン II	江川 知秀
Web プログラミング	永野 文弥
アジア経済論 II	塩入 勇
エネルギー・環境論 II	西澤 慶人
韓国経済論	樋口 裕人
韓国語 II	村上 なな
韓国ビジネスコミュニケーション II	曾村 正和
キャリア・デザイン入門	茂木 佑馬
教育相談	木村 礼生
クリエイティブデザイン II	田部井 龍治
グローバルエコノミー II	赤坂 英紀
グローバルエコノミー IV	渡邊 十夢
グローバルヒストリー II	赤坂 英紀
グローバルヒストリー II	小倉 秀高
グローバルヒストリー IV	高橋 隆成
グローバルマーケティング I	濱島 健吾
経営組織 II	奥村 亜瑞美

科目名	氏名
現代メディア論 II	清水 亜紀
コンピュータ概論	杉山 康佑
コンピュータ概論	山本 雄
財務会計 II	高瀬 和希
事業デザイン論 II	渡辺 結南
システムデザイン	市村 侑己
自然科学概論 II	大久保 諄也
実践的事業経営特講	武田 彩
消費心理	貝沼 大輝
情報セキュリティ	張ヶ谷 芳子
情報通信と社会	大瀧 将聖
初級簿記	DENG HUI MIN
数字力で語る	坂本 尚平
世界の宗教	二宮 悠輝
多摩学 I	荒井 綺花
地域産業論 II	楠本 和哉
地域政策プランニング	青木 耀樹
中級簿記	吉田 百合香
中国ビジネスコミュニケーション II	田中 爽貴
デザインワークショップ II	岩野 元輝
特別講座 II	佐藤 樹

科目名	氏名
認知心理	大岩 邦充
ビジネスコミュニケーション II	鄧 恵敏
ビジネスコミュニケーション II	田中 優希
ビジネスコミュニケーション入門 II	石田 和
ビジネスコミュニケーション入門 II	奥原 れいな
ビジネス戦略 II	鈴木 陽仁
ビジネス入門 II	小熊 祐希
ブランドマネジメント	若林 広大
文章伝達入門	袁 宇健
文章伝達入門	呉 宇程
ベンチャー企業論	水野 匠
マーケティング・リサーチ	合屋 有喜穂
マクロ経済学	赤坂 英紀
問題解決学入門 II	田中 雄大
問題解決学入門 II	古橋 明日香
ヨーロッパ経済論	柴崎 実佑
ライフ・デザイン	副島 幸奈
ライフ・デザイン	田中 雄大
立志論 II	天羽 正恵
立志論 IV	鈴木 拓帆
立志論 V	佐藤 樹



優秀学生賞

【2015 年度 学長賞】

チーム・学生氏名	内 容
多摩大学体育会フットサル部	東京都大学フットサルリーグ 2 連覇、関東大学フットサルリーグ準優勝
村山貞幸ゼミ	社会人基礎力育成グランプリ 2016 全国大会準大賞

【2015 年度 学部長賞】

チーム・学生氏名	内 容
出原至道ゼミ	日本バーチャルリアリティ学会主催 国際学生対抗バーチャルリアリティコンテスト 全国大会出展
水口 輝、青木 耀樹、美野 佑弥	地域学生センター
米倉 聡之介	TOEIC で優秀な成績を収める

【2015 年度 秋学期 社会・研究活動賞】

チーム・学生氏名	内 容
米田 圭孝	U-18 フットサル日本代表選出
大森拓哉ゼミ	第 63 回東京都統計グラフコンクール パソコン統計グラフの部入選
梅澤佳子ゼミ	多摩グリーンライフ・プロジェクト：みどりのルネッサンスチーム
インターゼミ アジアダイナミズム班	「琉球国と東アジア —琉球史から探る沖縄の自立自尊と経済的自立—」論文の完成
福田 雅之	2015 年度学生会長
宮崎 遥子	2015 年度多摩祭実行委員長
大橋 奈紗	MOS 試験満点を獲得
中谷 健人	MOS 試験満点を獲得
若林 広大	MOS 試験満点を獲得
宮田 悠嗣	MOS 試験満点を獲得
根釜 銀	MOS 試験満点を獲得
村木 優子	MOS 試験満点を獲得



社会・研究活動賞

エンターテインメントを脳科学する

「21世紀は脳の時代」とも呼ばれています。オバマ大統領が国家規模の研究計画を発表し、脳の科学的解明が大きく進展すると期待されています。人の行動や心のあり方がすべて脳活動の反映であることを考えると、脳の解明は人の生き方や社会のあり方、さらにはビジネスの分野にも大きな影響を及ぼすことになるでしょう。

良峯ゼミでは「エンターテインメントを脳科学する」というテーマのもと、エンターテインメント作品（映画、アニメ、音楽、ゲームなど）が、脳にどのような影響をもたらすのかを脳波を使って測定し、「楽しむ」という心のあり方を脳の変化を通じて明らかにしていきたいと思っています。

良峯 徳和

(ヨシミネ ノリカズ)

経営情報学部 教授

〈プロフィール〉

筑波大学哲学思想研究科単位満了。イギリス、リーズ大学哲学部修士。東京工業大学社会理工学研究科修了。学術博士。放送大学、東海大学などで非常勤講師。湘南国際女子短期大学、多摩大学グローバルスタディーズ学部を経て現職。著書に『量から質に迫る』（共著、新曜社、2014）など。



データ分析者ではなく、データサイエンティストになる

マーケティングの中で、益々重要度を増しているデジタルマーケティング。その成否の鍵を握るのは、いかにデータを分析し、うまく活用できるか、ということです。そのような中で、ビジネスにおいてデータ活用を成功させるのに欠かせない存在として認識されるようになったのがデータサイエンティストだと考えています。私の授業・ゼミでは、単に分析技術を習得してもらっただけでなく、デジタルマーケティング領域で活躍できるデータサイエンティストとして必要な技術を学んでもらいたいと思っています。また、学習にあたっては、将来のビジネス環境を考慮し、技術インフラとして最先端のクラウドサービスを利用します。それにより、今後の社会で真に必要なとされる人材の養成を目指します。ぜひ共に学び、研鑽しましょう。

佐藤 洋行

(サトウ ヒロユキ)

経営情報学部 准教授

〈プロフィール〉

九州大学大学院修了（農学博士）。大学院にて画像データ解析の研究に従事。2008年ブレインパッドに入社、2014年1月Qubital データサイエンス取締役に就任し、多くのプロジェクトにデータサイエンティストとして携わる。2016年より現職。



グローバルスタディーズ学部

Think globally, act locally

私の修士論文は高校の英語教科書におけるグローバル問題分析でした。日本の英語教科書には環境や人権などのグローバル問題が沢山出てきますが、それを解決させるアクティビティ導入はまだまだ足りません。英語教育のグローバル問題専門の第一人者であるキップ・ケイツは「知識を元に行動すること」の重要性を説いています。大学での学びを社会に還元出来るように、私は学生を指導していきたいと思っています。

また、現在私は「成功する日本の英語教育政策とは」をテーマに、外国の英語教育政策を分析すると共に、日本国内の様々な立場の英語教育実践者から教育政策に関する意識調査を行っています。

大場 智美

(オオバトモミ)

グローバルスタディーズ学部 専任講師

〈プロフィール〉

1966年生。東京都出身。私立中学高等学校、インターナショナルハイスクールで教員経験後、大学で英語教育および社会福祉を教える。2002年コロンビア大学修士号取得、現在ロンドン大学大学院教育研究科博士課程在籍中。



教育問題を語ろう！

教育を巡る課題を挙げなさいと問えば、「体罰」「児童虐待」「いじめ」「教員の質の低下」「教育制度の見直し」等々、枚挙にいとまがありません。教育の問題は常に旬な話題であり、課題でもあります。

私は、保護者対応・教員の多忙化・地域との連携というキーワードで研究を進めています。教員、保護者、地域サイドの目線から教育課題を考え、我が国の教育法規に照らし合わせて分析しつつ、なおかつ世界の中で我が国の教育の立ち位置を知るという姿勢で取り組んでいます。また、個人的には、教育の原点は家庭、親子にあるとの立場から地域親子理科教室を主宰し、科学のすそ野を広げる活動をしています。

金本 佐紀子

(カネモト サキコ)

グローバルスタディーズ学部 専任講師

〈プロフィール〉

京都大学農学部食品工学科卒業、日本女子大学にて修士号取得。香川大学付属中学校、埼玉県公立中学校勤務後、日本女子大学教職開発センター客員研究員、東京女子館大学専任講師を経て現在に至る。



Do your best, be prepared, and take some chances.

私は修士課程で TBLT に興味を持ち、TBLT における明示的 / 暗示的な言語指導について修士論文を作成しました。私はまたコーパス言語学にも興味があり、英語の授業に特化したコーパスを作成した経験もあります。多摩大学では speaking (話す) writing (書く) を教えます。休日には西東京にハイキングに行くのが好きです。また料理も好きで、特にインド料理とタイ料理を作るのが好きです。

In my master's degree I took an interest in Task Based Language Teaching (TBLT). My master's thesis focuses on explicit and implicit form focused instruction in TBLT. I am also interested in corpus linguistics. I am interested in using the internet as a data source to create specialised corpora for the purposes of developing materials for English lessons. At Tama university I teach English speaking and writing. In my free time I like hiking in west Tokyo. I also like cooking. I especially like to cook India and Thai food.

Edward McShane

(エドワード マクシェイン)

グローバルスタディーズ学部 助教

〈プロフィール〉

アイルランド出身。コンピューターサイエンスの学位を取得し、2005年にベルファストのクイーンズ大学を卒業。TESOL アストン大学修士課程在籍中。English teacher in Tama University School of Global Studies. Born in Ireland. Graduated from Queen's University of Belfast in 2005 with a degree in Computer Science. Masters degree in TESOL Aston University Teaching English in Japan since 2005.



「自分自身の“存在”について真剣に考える4年間であるように」

2016年4月5日、パルテノン多摩 大ホールにて、「2016年度多摩大学入学式」が行われました。今年度の新生は、経営情報学部 402名、グローバルスタディーズ学部 164名、計 566名です。

寺島実郎学長は、「多摩大学は広い意味の多摩地域に所在し、グローバルな視野を持つ、地域に根ざした大学を目指して進んでいます。一人一人の学生に教職員が向き合い、ゼミ中心の手づくり感のある教育を実践するコンパクトな大学です。4年間の大学生活は自分が絶対にあきらめてはいけない夢や可能性を確認し、さらに自分自身のポテンシャルをしっかりと見つめ、客観的に認識しながら、根拠のある夢や自信に変えていくためのとても大切な時間です。また選挙権の年齢が18歳に引き下げられ、今年度の大学1年生は有権者として7月の参議院選挙から投票できる最初の年。同時に大人の責任も共有させられることにもなります。社会の中で大人として認められるためには、経済的自立と社会的貢献が必要。経済的自立の面において大学生は微妙な時期ですが、大人として自分の幸福だけでなく他人の幸福のためにも貢献できなくてはなりません。皆さんには社会で生きていく上で必要な基盤となる知性を身につけてもらいたいと心から思います。大学時代には一生の友達をつくり、そして自分の師と仰げる存在を見つけてほしい。スマホに依存することなく、自分の頭で考える力を身につけてもらいたい」と4年間の大学生活が充実したものとなるよう期待を込めた言葉を送りました。

引き続き、学校法人田村学園 田村嘉浩理事長は、「自分の頭で徹底的に考え抜く力を身につけ、様々なことにチャレンジしてほしい。今しかできないこと、やらなければならないことはたくさんあります。過去は変えられないが、未来はいくらでも変えられます。4年後に高い志をもって社会に巣立っていくことを望みます。夢や希望にあふれ、輝けるものとなるように」と充実した大学生活へのアドバイスを送りました。来賓の阿部裕行 多摩市長、多摩信用金庫 八木敏郎理事長が祝辞を述べ、経営情報学部とグローバルスタディーズ学部の新生代表がそれぞれ、これからの大学生活への抱負と期待を述べました。

式典終了後は、各学部で会場を別にして保護者向け説明会が実施されました。



式辞を述べる寺島学長



経営情報学部(左)、グローバルスタディーズ学部(右)新生代表



学園歌斉唱する新生と保護者の方々



経営情報学部 保護者向け説明会

SGS 後援会定期総会

グローバルスタディーズ学部 第8回後援会 定期総会 報告

2016年6月18日 湘南キャンパスにて「グローバルスタディーズ学部 第8回後援会定期総会」が開催されました。同時開催イベントとして安田震一学部長による学部現況、藤沢市観光協会 奥村裕美課長による特別講演、海外留学体験談報告、卒業生を迎えた「パネルディスカッション」が行われ、終了後にはカフェテリアで保護者の皆様と教職員との懇親会がありました。

○後援会定期総会

第1号議案(平成27年度事業報告・決算報告・監査報告)、第2号議案(平成28年度後援会役員24名の選出)、第3号議案(平成28年度事業計画・予算)について審議し、承認されました。

○学部現況(安田震一 グローバルスタディーズ学部長)

安田学部長はSGSのミッションは「グローバル人材の育成」とし、①少人数制、②英語教育、③留学プログラム、④面倒見が良い(キャリア教育:インターンシップやキャリア教育)の4要素を説明。カリキュラムや教育内容、Study Abroad Program、就職実績についても解説しました。

○第1部 特別講演「多摩大学&藤沢市との観光連携の取り組み」(公益社団法人 藤沢市観光協会 奥村裕美 インバウンド担当課長)

2015年11月、藤沢市観光協会、藤沢市、多摩大学は、観光連携等協力協定を締結しました。同協会と本学生とで行ってきた江ノ島に関する調査分析や広報活動などを紹介すると同時に、2020年東京オリンピックに向けて外国人観光客誘致するための今後の展望について説明しました。

○第2部 留学体験報告会(国際交流センター)

2015年度にアメリカ合衆国・ニュージーランド・カナダ・オーストラリアの大学への長期及び短期の留学をした学生9名が、各国大学での留学体験について報告をしました。

○第3部 パネルディスカッション「SGSでのキャンパスライフと社会人生活」(就職委員長 堂下恵准教授)

パネラーには社会人として活躍する2名の卒業生(4期生・5期生)を迎え、進行役は堂下准教授。①現在の仕事内容、②大学生活、③自身の就職活動、④将来設計などについて体験を交えて語っていただきました。後半の質疑応答では、会場と活発な意見交換が行われ有意義なひとときとなりました。



定期総会にて役員に選出された皆様



安田震一学部長 藤沢市観光協会 奥村裕美課長



学生による留学体験報告



パネルディスカッションの様子



懇親会で歓談する保護者の皆様と教職員

経営情報学部

経営情報学部では、1年次は『プレゼミ』、2年次から4年次までの3年間は『ホームゼミ』に所属し、研究やプロジェクトを通して学力を身につけると共に学内外の仲間・先生・社会人との交流を通して社会人基礎力を身につけていきます。

また、1年次より『キャリアデザイン』『ビジネス入門』などの科目があり、早期に具体的な自分の将来像を描き、納得のいく進路のための準備ができるよう力を入れています。2年次は働くことについて考え、働くことは楽しいと発見できるようなプログラムを開催します。就職活動本番となる3年次からは、就職ガイダンス、ゼミ担当教員による個別面談、キャリア支援課による個人面談（3年生全員）、マナー講座、学内業界セミナー、職業適性検査、就職用模擬試験と対策講座、エントリーシート対策講座、筆記試験対策、模擬試験、模擬面接など様々なキャリア支援プログラムを順次開催します。またキャリア支援課職員はゼミごとに担当を持ち、ゼミ担当教員と常に情報を共有しながら、学生それぞれの個性に合わせてきめ細かに指導を行っていきます。さらに、定期的に就職に関する父母懇談会を開催し、ご家族にも就職活動に関してご理解を頂けるような環境づくりにも努めています。就職難の時代でも多摩大学が高い就職率を保ち続けてきた背景には、このような1学年の学生数320名という少人数を活かした三位一体の就職支援体制があるからです。

グローバルスタディーズ部

グローバルスタディーズ学部では世界に通じる知性を身につけ、英語と日本語で自由にコミュニケーションができる人材の育成を目指し、国内外で豊富なビジネス経験を持つプロフェッショナルな教職員の力強いキャリアサポートを実践しています。

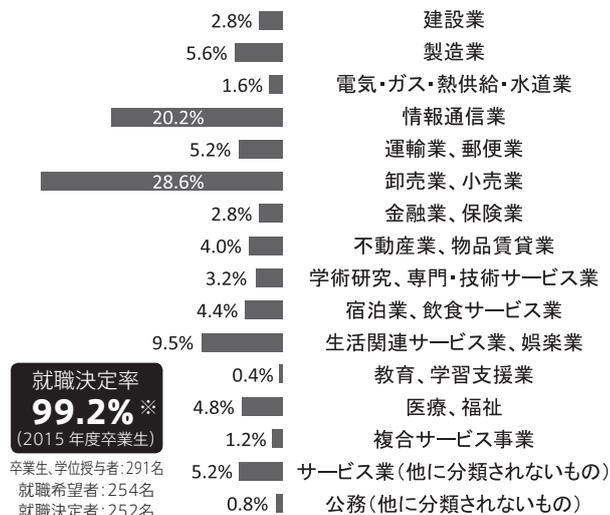
1年次のキャリア形成論でスタートし、2年次からの個別面談、グループ面談、そして2・3年次の夏休み・春休みに実施される国内外インターンシップなど、早い時期から就職活動に直結する実践的プログラムを導入し、将来の進路に対する意識の確立をはかっています。またインターンシップ先はホテル、航空会社、グローバル企業、国際組織などを中心に豊富に準備しています。

キャリアサポートの特色として、①少人数の対話形式の授業、②1年次のキャリア形成論（授業科目）に始まり、コミュニケーション能力、就業力を醸成する課外講座でのキャリア教育講座、4年次の社会人準備講座まで授業および課外講座で充実したキャリア教育を実施、③2年次の国内インターンシップ、3年次には海外インターンシップや公募型インターンシップの参加も可能、④3年次には毎週、ワークショップ形式で実践的な就職対策講座を開講、⑤1年次の進路調査、2、3年次の個人面接、4年次の個別キャリアカウンセリングにより全学生の進路状況を把握し、学生の希望、適性、個性、能力等に合ったアドバイスを行っています。

2015年度就職状況【業界別内訳】

※2016年3月31日現在

経営情報学部

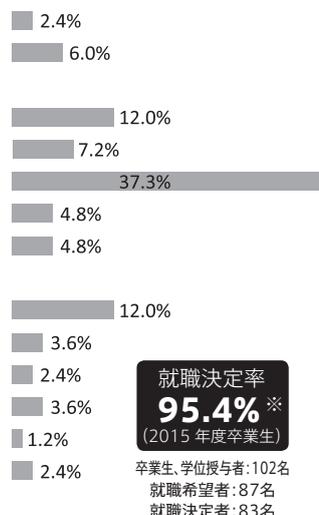


就職決定率
99.2% ※
(2015年度卒業生)

卒業生、学位授与者: 291名
就職希望者: 254名
就職決定者: 252名

※就職決定者数/就職希望者数 (%)

グローバルスタディーズ学部



就職決定率
95.4% ※
(2015年度卒業生)

卒業生、学位授与者: 102名
就職希望者: 87名
就職決定者: 83名

業種名	経営情報学部	グローバルスタディーズ部
	人数	人数
建設業	7	2
製造業	14	5
電気・ガス・熱供給・水道業	4	0
情報通信業	51	10
運輸業、郵便業	13	6
卸売業、小売業	72	31
金融業、保険業	7	4
不動産業、物品賃貸業	10	4
学術研究、専門・技術サービス業	8	0
宿泊業、飲食サービス業	11	10
生活関連サービス業、娯楽業	24	3
教育、学習支援業	1	2
医療、福祉	12	3
複合サービス事業	3	1
サービス業(他に分類されないもの)	13	2
公務(他に分類されないもの)	2	0
合計	252	83

2015年度 主な就職先はこちらをご覧ください。

○経営情報学部 <http://www.tama.ac.jp/career/smis/jisseki.html>

○グローバルスタディーズ学部 <http://www.tama.ac.jp/career/sgs/005.html>

多摩キャンパス4年生対象「第3回学内合同企業説明会」開催

2016年5月27日多摩キャンパスにて「学内合同企業説明会」を開催しました。情報通信業、サービス業など様々な業種15社をお招きし、グローバルスタディーズ学部生のために、湘南キャンパスから無料のシャトルバスが運行され、経営情報学部生と併せて約50名が参加しました。

多摩キャンパスの学内合同企業説明会は、参加学生全員に向けて1社ずつ会社PRを行う事前説明会から始まり、その後企業ごとにブースに分かれ40分間の説明会を入替制で3回開催します。事業内容や求める人材、採用計画などを詳細に説明していただき、近い距離で直接話を伺うことにより、インターネットや情報誌だけでは伝わりにくい会社の雰囲気などを感じ取れるメリットがあります。学生は真剣な面持ちで企業担当者の話に耳を傾け、積極的に質問をするなど熱気あふれる説明会となり、「選考にチャレンジしたい」「新たに興味を持った業界と出会えた」などの感想がありました。



平成 27 年度 学校法人田村学園概要

多摩大学の経営母体である学校法人田村学園は、私立学校として積極的に情報開示をしております。最新の田村学園概要は、以下のとおりです。

(学校法人 田村学園 貸借対照表)

貸借対照表

平成 28 年 3 月 31 日 (平成 27 年度)

(単位 百万円)

資産の部	前年度末	本年度末	増 減
科目			
固定資産	22,364	22,135	△ 229
有形固定資産	20,537	20,217	△ 320
土地	11,746	11,746	0
建物	7,653	7,392	△ 261
その他	1,138	1,079	△ 59
特定資産	1,692	1,792	100
第 2 号基本金引当特定資産	1,600	1,700	100
第 3 号基本金引当特定資産	92	92	0
その他の固定資産	135	126	△ 9
電話加入権	5	5	0
その他	130	121	△ 9
流動資産	4,614	5,024	410
現金預金	3,440	3,928	488
その他	1,174	1,096	△ 78
資産の部合計	26,978	27,159	181
負債の部			
科目			
固定負債	365	375	10
長期借入金	2	2	0
退職給与引当金	363	373	10
流動負債	1,312	1,081	△ 231
短期借入金	0	1	1
前受金	793	792	△ 1
その他	519	288	△ 231
負債の部合計	1,677	1,456	△ 221
純資産の部			
科目			
基本金	31,438	31,751	313
第 1 号 基本金	29,349	29,562	213
第 2 号 基本金	1,600	1,700	100
第 3 号 基本金	92	92	0
第 4 号 基本金	397	397	0
繰越収支差額	△ 6,137	△ 6,048	89
翌年度繰越収支差額	△ 6,137	△ 6,048	89
純資産の部合計	25,301	25,703	402
負債及び純資産の部合計	26,978	27,159	181

(平成 27 年度 学校法人 田村学園 計算書類 抜粋)

〔資金収支〕

(資金収入) (単位: 百万円)

学生生徒等納付金収入	3,633
手数料収入	72
寄付金収入	52
補助金収入	1,151
資産売却収入	200
付随事業・収益事業収入	157
受取利息・配当金収入	22
雑収入	48
その他	43
前年度繰越支払資金	3,440
合計	8,818

〔資金支出〕

人件費支出	2,874
教育研究経費支出	915
管理経費支出	461
借入金等利息支出	0
その他	640
翌年度繰越支払資金	3,928
合計	8,818

〔事業活動収支〕

(単位: 百万円)

学生生徒等納付金	3,633
手数料	72
寄付金	52
経常費等補助金	1,129
付随事業収入	146
雑収入	48
教育活動収入合計	5,080
人件費	2,883
教育研究経費	1,316
管理経費	495
その他	27
教育活動支出合計	4,721
教育活動収支差額	359
教育活動外収入	31
教育活動外支出	0
教育活動外収支差額	31
経常収支差額	390
特別収入	22
特別支出	10
特別収支差額	12
基本金組入前当年度収支差額	402
基本金組入額	△ 313
当年度収支差額	89
前年度繰越収支差額	△ 6,137
基本金取崩額	0
翌年度繰越収支差額	△ 6,048
(参考)	
事業活動収入 合計	5,132
事業活動支出 合計	4,730

(平成 28 年度)

・学生・生徒等 (人)	田村学園全体	4,743
	多摩大学	
	学部	
	経営情報学部	1,382
	グローバルスタディーズ学部	596
	多摩大学 大学院	93
	高校 (2)・中学 (2)・幼稚園 (3)	2,672
・キャンパス面積 (㎡)	田村学園全体	114,228
	多摩大学	44,913
	その他	69,315

以上、平成 28 年 5 月 1 日 現在

多摩大学 フットサル部 2016 年度 新入部員の紹介

<http://www.tama.ac.jp/futsal/>

①ポジション ②抱負 数字は背番号



生駒 瑠唯 2

①フィクソ
②どんな局面でも守れるフィクソになる。日本一になる。



鈴木 竣也 3

①ゴレイロ
②先輩達を越えるように頑張る。



金須 恭弥 13

①フィクソ、アラ
②自分の色を出して頑張りたい。



石田 健太郎 14

①フィクソ、アラ
②帝京魂で頑張る。



小林 大蔵 15

①ピヴォ
②得点王になる。



福田 恭丈 16

①フィクソ
②チームの一員として最善を尽くす。



小宮 駿 17

①ピヴォ、アラ
②要注意人物になる。



金城 宏樹 18

①フィクソ、アラ
②切り替えを早くする。ゴールをいっぱい取る。



山中 勇輝 21

①ゴレイロ
②A チームで公式戦に出る。



丸田 健太郎 22

①アラ
②学業とフットサルを両立する。



上原 詢司 23

①ピヴォ、アラ
②点を決めて勝負を決める選手になる。



小松崎 陸 24

①アラ
②点を取れる選手になる。人間力を上げる。



乙丸 剛志 25

①ピヴォ、アラ
②がむしゅらに頑張りたい。



粕川 雄哉 26

①フィクソ、アラ
②チームに貢献する。



森元 仁太 27

①アラ
②怪我をしない。



志賀 樹 28

①ピヴォ、フィクソ
②文武両道する。



水口 哲兵 35

①ゴレイロ
②キーパーからゴレイロへ。



佐藤 壘 41

①ゴレイロ
②ゴレイロとして1人前になり、A チームに入る。



須田 諒 71

①フィクソ、アラ、ピヴォ
②チームについていけるように頑張る。



吉田 颯樹 99

①ピヴォ、アラ
②親に良い姿を見せる。

第 12 回 全日本大学フットサル大会 東京都予選優勝! 関東大会進出!!

2016 年 5 月 28 日 東京都予選が行われ、準決勝で明治学院大学「SA jugaria」、決勝で東京大学「さんばち先生」を下し、見事優勝し関東大会進出を決めました。関東大会は 7 月 10 日に、埼玉県熊谷市の体育館で行われる予定です。

卒業生インタビュー

高い志をもって社会で活躍している多摩大学の卒業生たち。大学で身につけた力が今、社会でどのように生かされているかを聞きました。

※所属や肩書などは取材当時のものです。

スターフリースホールディングス株式会社 代表取締役社長 **中田 将来** 経営情報学部 2004 年卒業

経営情報学部

IT と経営が学べる環境で、アウトプットの大切さを学んだ。

学生時代に取り組んだこと

もともと人前で話すことは嫌いではありませんでしたが、それでも望月照彦先生のゼミの思ひ出は、つらかった日々。かなり鍛えられました。

すごい回数のプレゼンをやらされたこと、日々その準備に追われていたこと、それが記憶に残っています。でもそのとき気づいたのは、「アウトプットをたくさんやるのがインプットにつながる」というテーゼ。講義を聞いているだけでは頭にあまり残りませんが、発表するために準備をし、自分で調べてまとめたことは、決して忘れないものです。アウトプットを前提にすると、自分の立ち位置や、考え方のプロセスまで客観的に確認することができます。自分が何者で、何をしようとしているのか、と。いちばん大切なことを学びました。

社会人になって思うこと

10代で起業し、一足早く社会に出ていた私にとって、IT と経営の両方が学べる多摩大学は、それしかあり得ない選択でした。生意気な私の経営上の疑問に対して、実務家の先生だからこそ返せる、明快な回答の数々。専門を持った先生方に会えたことは、私にとって最大の財産になりました。

相談の連絡をいまでも続けています。さらに実感させられたのは、目的という“志”。「夢という想い」や「情熱という力」だけではダメ。期限を決めた具体的なアウトプットは、自然と行動を喚起します。

まず目的を決めること。起業であれ、就職であれ、目的が明確であれば、それに向けて準備を進めるはず。志というのは特別なことではなく、具体的な目的だと思います。

(インタビュー 2012年5月に実施)



Profile

1980年金沢市生まれ。17歳で高校中退後、Web制作会社を起業する。その後大検(大学入学資格検定)を取得し、多摩大学経営情報学部へ入学。大学在学中の2002年4月、学生同士でベンチャー企業「合資会社エンタープライズ」を設立。その後、事業拡大に伴い2003年7月、U.S.S.エンタープライズ株式会社を設立。2007年7月、株式移転により、スターフリースホールディングス株式会社を設立。現在、国内リユースサイト事業では最大規模の取扱ジャンル数を誇っている。

ザ・パック株式会社 東日本事業本部 東京第2部 **瀬田 巴** グローバルスタディーズ学部 2015年卒業

グローバルスタディーズ学部

語学力はもちろん、行動力を高めるのも、湘南キャンパスならではの魅力!

学生時代に取り組んだこと

個性的な先生や授業が多く、とくに学部長でもあるウィリアム シャング先生にはしっかりと鍛えられました。もともと英語に対しての苦手意識はありませんでしたが、90分間、英語だけで授業が行われることに最初は圧倒されました。それでも次第に英語が理解できるようになり、自分の意見を言うようになると、自然と自信がつきどんどん上達していきました。また、英語だけではなく、コミュニケーション力や行動力も身につきました。

自分を試すためのロスアンゼルス短期留学をはじめ、サンフランシスコへの留学、英語圏向けのヨーロッパ1周バスツアー等々に参加し、行動力をフルに発揮した4年間でした。何事にも臆せずチャレンジできるパワー、それを与えてくれたのが多摩大学だったのです。

社会人になって思うこと

多摩大学で身につけた「前進あるのみ」という行動力と勇気は仕事にも活かされています。今は、企画を担当するプランニングセンターに所属していますが、お客様のニーズを聞きだし最適なデザインや素材、形状、コストなどを提案する仕事は私に向いていると実感しています。

実は、在学時は、漠然とした気持ちでホテル業界を志望し、ホスピタリティ・マネジメントコースを専攻していましたが、授業やインターンシップを経験していくうちに自分には向いていないことが分かり、方向を転換。コースを途中で変えることができるのも多摩大学の魅力のひとつです。また、ザ・パック株式会社と出会うきっかけもキャリア支援課からの紹介でした。OB訪問で、話を聞いているうちにパッケージ業界に興味を持つようになりました。多摩大学は自分の興味を引き出すヒントを与えてくれ、それを全力で応援してくれる大学です。

(インタビュー 2016年2月に実施)



Profile

2015年3月多摩大学グローバルスタディーズ学部卒業。その後、国内・外にネットワークをもつ大手総合パッケージメーカー、ザ・パック株式会社に入社。東日本事業本部 東京第2部に所属し、主に新規顧客の開拓を担当する。半年後、パッケージの企画を立案するプランニングセンターに異動。現在、顧客ニーズに合った新しい提案を考える忙しくも充実した日々を送っている。